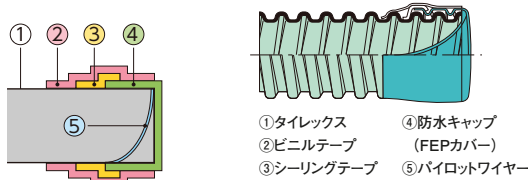


## 取付方法



①タイレックス ④防水キャップ  
②ビニルテープ (FEPカバー) ⑤パイロットワイヤー  
③シーリングテープ

- 1 タイレックスに付着した、水や泥をウエスなどでよく拭き取ってください。
- 2 パイロットワイヤーをホース内部より取り出し、タイレックスの谷部に巻き付けます。
- 3 シーリングテープをタイレックスとキャップのすき間を埋めるように巻き付けます。
- 4 ビニルテープをシーリングテープの上に巻き付けます。

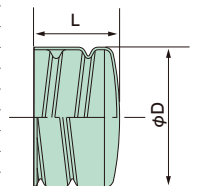


種類	ご注文品番
30	FEP-30B
40	FEP-40B
50	FEP-50B
65	FEP-65B
80	FEP-80B
100	FEP-100B
125	FEP-125B
150	FEP-150B
200	FEP-200B

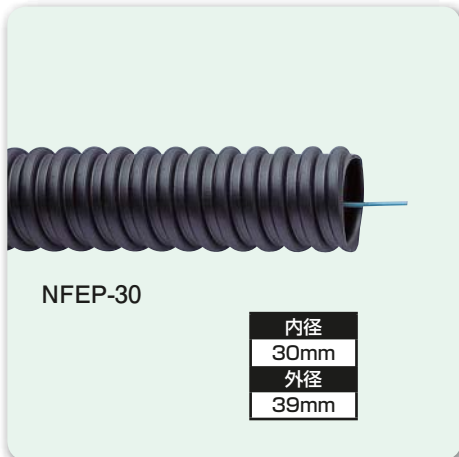
メーカー品番は種類の前にTCが付き(例 TC-30)。

種類	φD	L
30	46	31
40	61	37
50	71	45
65	89	55
80	108	63
100	137	87
125	175	176
150	207	158
200	270	205

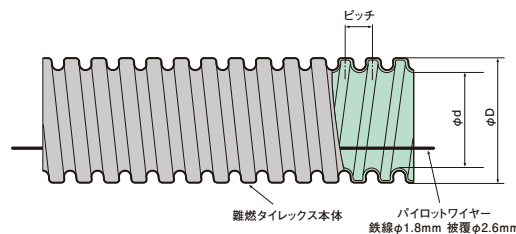
単位(mm)



# 難燃タイレックス



- 難燃性の要求される工場、発電所のケーブル保護管。
- 火花の飛び散る工事現場の仮設配管に適しています。



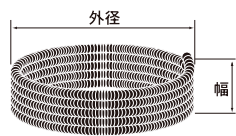
種類	φd 約(mm)	φD 約(mm)	ピッチ 約(mm)	参考質量 (kg/m)
30	30	39	10	0.2
40	40	54	13	0.3
50	50	65	17	0.4
65	65	84	20	0.7
80	80	102	25	0.9
100	100	130	34	1.2
125	125	161	40	1.7
150	150	189	47	2.4
200	200	253	55	3.5

- ケーブル引き入れの際便利のように、あらかじめパイロットワイヤーが引き込まれており、把巻きを標準にしています。なお、パイロットワイヤーの許容引張強度は、MAX490N(50kgf)です。
- 長期間ケーブルを引き入れない場合は、パイロットワイヤーが腐食する場合がありますので、使用環境、状況に合わせてナイロンロープなどに引き替えてください。

## 特長

- 難燃性  
日本工業規格JIS C 3653に定められている難燃性試験に合格しています。このため、難燃タイレックスを地中保護管に使用した場合、電気設備技術基準第139条および第140条に定められている離隔距離を取らずに布設できます。
- 扁平圧縮強度  
タイレックスと同様の波付構造ですから、優れた扁平圧縮強度があります。
- 作業性  
埋設時に最小限のスペースで布設でき、作業能率がアップします。工期の短縮並びに省力化に役立ちます。

## 梱包サイズ



火花の飛び散る工事現場などに最適です

メーカー品番は種類の前にNTPが付き(例 NTP-30)。

種類	ご注文品番	梱包サイズ(外径×幅)					単位:m
		30m	50m	100m	200m	300m	
30	NFEP-30		0.95×0.3	1.1×0.3		1.4×0.4	
40	NFEP-40		1.1×0.35	1.2×0.4	1.5×0.5		
50	NFEP-50		1.2×0.4	1.4×0.45	1.6×0.5		
65	NFEP-65		1.5×0.45	1.6×0.55			
80	NFEP-80		1.9×0.3	1.8×0.65			
100	NFEP-100		2.0×0.4	2.0×0.8			
125	NFEP-125		2.1×0.75				
150	NFEP-150		2.4×0.8				
200	NFEP-200	2.3×0.9					